



作成中

葛飾区都市計画マスタープラン

表紙デザインの方向性

・手に取りやすいポップなイラストや色使いで、葛飾らしさが伝わる親しみやすいデザインの表紙



- ・手に取りたいと思われる
ポップなイラストや色使い
- ・葛飾らしさが伝わる
親しみやすいデザイン



第6回策定委員会における「都市マス表紙について」への意見

より多くの区民の方々が、手に取って見たい、と思うような表紙、という意味で、ポップで楽しそうな雰囲気のある渋谷区のものはいいと思う。

ただ、渋谷区は、都市マスタープランではなく、まちづくりマスタープランとしていて、どちらかという人、人やプログラムに軸足があり、そこから空間に展開している感じなので、こういう表現になっているわけで、葛飾区の場合は、やはり空間も大事なので、渋谷区のようなポップなスタイルをベースにしながらも、もう少し空間の特色、こういう風景になっていく、というところが表現されるといい。

葛飾区は、水害対応も含めて、これからどんどん空間が変わっていくということなので、こういう葛飾にしていくのだ、という意図が伝わるような表紙がいいだろう。

都内でも山の手の方に住んでいる人の中には、「葛飾って千葉？」という方もいるくらいなので、外向けにイメージが伝わるよう、葛飾らしさを示す写真や絵をきちんと描いた方がいいのではないかな。

未来感を描き、強調したいものをデフォルメ的に描くという意味で、イラストは良い手法だと思う。また、若い人に受けるといふ点では、アニメ風のものも1つのアイデアとして検討してもらえればと思う。

基本構想に入っていた人情、葛飾区特有の人情が分かるような表紙ができれば、面白いのではないかな。

人情とよく言われるが、困っている人がいれば救いの手を出すというのが葛飾にはあるのかなと思う。しかし、それを表現することは大変難しい。p.28を綺麗にしてもらおうとかでもいいのではないかな。前回の七曲りの写真もいいが、暗い印象なので、明るい表紙にしてほしい。

人情をイラストなり何らかの形に表すことは難しいことではあるが、葛飾区の良さはそういうところにあることは皆さんが折々感じるところでもあるので、チャレンジして表現してもらえたらいい。